

第75回



TOYOOKA ART EXHIBITION

2024.

10.31^木・11.4^{月休}

9:00～18:00 (11月4日のみ17:00まで)

豊岡市立総合体育館 (豊岡市大磯町1-75)

展示部門

- 特別招待の部
- 招待の部 ●一般の部
[絵画、書道、写真、彫刻・工芸]
- 高校の部 [絵画、書道]
- 児童・生徒の部
[図画、習字]
- 協賛展示の部



主催 豊岡市・豊岡市教育委員会

■問い合わせ／豊岡市美術展事務局(豊岡市役所文化・スポーツ振興課内)

TEL.0796-23-1160

Toyooka
Art
Season
2024

参加事業

特別招待の部

(五十音順・敬称略)

書道

馨 し い 花
白 楽 天 詩
萬 葉 集
城 崎 温 泉
光 陰
登 金 山 二 首
日高町太田 岸本 聖城
立野町 谷川 玉峰
中央町 坪内 翠楓
瀬戸 西村 鶏洲
船町 細川 翠楠
宮島 細川 太翠

彫刻・工芸

鳥になりたかった流浪の民2024

野田 秦 榮一郎

招待の部

(五十音順・敬称略)

絵画

招待優賞

でっかいなあ！

下宮 加藤 裕

評

昨年度の丁寧に描写され且つ全体の構成、色彩等バランスがとれた作品が印象に残っています。今回の作品は、ジンベエザメを見て感動した子供の素直な気持ちがよく伝わってきます。まだ2作品しか見ておりませんが、スタイルが出来ているように思います。今後どのように進展させていくのか楽しみです。(熱田)

招待作品

スペース(日の丸) 戸 牧 岩本 幸夫
海 竹野町森本 恵後原 好一
静 寂 森 岸田 太
悶々 と 一日市 岸本 喜朗
夕日ヶ浦 金剛寺 木下 峰全
曇華一現 養父市 児島 勝
風紋……「二枚貝兜」(B) 戸 牧 佐伯 武彦
「かたち」2024・9 引野 竹村 一博
午後の花たち 九日市下町 松田 康男
共に生きる 下陰 保田 りけい
夢に向かって 戸 牧 山居 茂樹
響 朝来市 和田 茂樹
生野中学校 朝来市 和田 典子

書道

招待優賞

小倉 百人一首

寿町 細川 栄香

評

百人一首三首を横に展開された秀作。細い線条ながら筆先の利いた線で、美しい字姿、各行の流れるような連綿、行間、字間の響き合う余白等、三つのグループに散らし方を工夫された章法と相まって素晴らしい作品に仕上がりました。

(森嶋)

招待作品

漢 詩 京丹後市 赤木 麗佳
津田 梅子 正法寺 石田 碩雪
月下對酒 千代田町 岩井 翠江
七言律詩 養父市 岡田 直堂
長慶慧稜のことば 畑上 小川 芳翠
陳子龍詩 京丹後市 柿本 華容
寄梵川諸友 京町 垣谷 碧葉
軟節宇宙に暢ぶ 中陰 岸垣 梅翠
日本三景のうた 京丹後市 京崎 操風
秋 處 香住 小林 大作
對酒 竹野町林 大部 行堂
祥鳳 立野町 谷川 玄龍
北宅祕園 日高町江原 友田 鶴汀
于謙詩 日高町夏栗 野澤 碩雲

朝霞 今森 原昌 鶴
流星 流正 法寺 和田 星翠

写真

招待優賞

タイムスリップ

森津 橘 喜代子

評

「どこでもドア」のような写真が面白いと思い、惹かれた作品です。「どこでもドア」を通して下の写真にタイムスリップするということに、作者が描く懐かしい思い出を感じられます。ドアの写真を入れることによって、様々なイメージが膨らむユニークな作品です。(池本)

招待作品

ブルースカイ 赤石 飯尾 寿久
星景かえる 岩大 手町 入江 良一
あれえ！ 妙楽寺 松岡 煌三

彫刻・工芸

招待優賞

生命力

桜町 石田 悦子

評

陶磁器が有する素材、釉薬を上手に使いこなし、アスパラガスの特徴を捉え、生命感ある表現となっています。(森野・松井)

招待作品

幻の華 城南町 内山 幸子
朝顔につるべ取られて……。 (加賀千代女の俳句より) 大磯町 岸下 厚子
あ の 丹波市 吉良 幸弘
一期一会 新温泉町 佐藤 弘円
内包物体 引野 竹村 一博
「ちょっと旅に出ます」 下陰 吉田 真弓

招待 審査評

【絵画】総評

審査員 熱田 守

昨年に引き続き、審査で期待を持って観させていただきました。抽象、具象を問わずどの作品も技術的に高く主題も深く感じます。意欲的に新しい題材や技法を試みると、何か発見や更なる楽しみが見つけられるかもしれません。次回作品も期待しています。

【書道】総評

審査員 森嶋 隆鳳

やはり作品の仕上りのレベルは高く、一点を選ぶのに苦労しました。書の道の勉強には終わりはありません。今後も豊岡市展の書部門の発展の為、ご努力を願うのみです。

【写真】総評

審査員 池本 喜巳

招待作家の作品からはベテランらしさが垣間見えしました。半面、新鮮味に乏しい印象も受けました。写真は楽しく撮ることが一番だと思います。これからも楽しく、長く写真を続けてください。

【彫刻・工芸】総評

審査員 森野 彰人
松井 紫朗

素材と技法に根差した意欲的な作品を着実に進歩させ、今後も素晴らしい作品を作っていかれることを期待しています。

一 般 の 部

(五十音順・敬称略)

絵 画

市 長 賞

金魚殺人事件「取扱注意」

宮 津 市 細 見 茂 樹

評

昨年度の作品に比べて色彩も増え、画面からはみ出す試み等、表現力が向上されています。今後の展開が楽しいな作品です。(熱田)

議 長 賞

「汚 染」

山 王 町 山 本 裕 夫

評

流橋に立つ母子と咲き終えた蓮の花。その上部に、対照的な工業地帯と真っ赤な夕焼け雲と空の組み合わせが印象的な作品です。タッチが細小で美しく、静かに大切なことを語りかけてくれる絵です。(内藤)

教育委員会賞

挑 戦

香 美 町 谷 渕 文 好

評

コロナ禍のパチンコ屋店内に、マスクをした人が台の前で座ったり立ち歩いたりしている動きを即興的な力強いタッチで画面全体に描ききっています。独特の色彩感覚で作者の世界観をつくり上げていました。(内藤)

商工会議所会頭賞

8 月 の レ タ ス

日 撫 土 生 田 静 子

評

具体と抽象を生かし、同系色でうまく画面をまとめています。(熱田)

文化協会長賞

光 芒 一 閃

養 父 市 三 方 和 也

評

黒を基調として版画の技法を生かしていて目を引く作品です。(熱田)

特 選

溶 岩 流 IV

出石町川原 天 野 良 昭

繫 が る

養 父 市 池 田 明 美

晩 秋 の 関 の 里

京丹後市 岩 崎 雅 夫

玄 武 洞

江 本 植 村 秀 喜

川 が に を 喰 う

竹野町森本 太田垣 征 司

S t o p T h e W a r

出石町伊豆 狩 野 和 子

回 想

中 陰 岸 田 彰

太 陽 の 恵 み

出石町町分 森 本 省 三

入 選

麒麟 獅 子

戸 牧 赤 松 隆 之

お参り「おばちゃん 足が…」

正 法 寺 芦 田 興 作

n a o

朝 来 市 足 立 有 沙

炎 の 舞

日高町国分寺 安 藤 和 三

2 0 2 4 刻

祥 雲 寺 上 田 晴 彦

秋 爛 漫

出石町細見 柏 木 きみ枝

未 来

日高町日置 篠 原 幸 美

h a m a c a

小田井町 島 田 千 晴

玄 武 郎

小田井町 島 田 勝

水 面 II

香 美 町 清 水 愛 花

祭 り

養 父 市 宿 南 泉

但 馬 牛 哺 乳

日高町万場 田 中 忠 雄

旅はまだ終わらない

戸 牧 友 田 史 江

秋 光

京丹後市 中 村 弘 子

六 甲 縦 走

塩 津 町 野 竿 進

初秋の久須部溪谷

朝 来 市 野 崎 武 司

萬華鏡 ～MANDARA～ 野 田 秦 榮 一 郎
ハクモクレンの丘 京丹後市 福 田 修 一
初 夏 の 都 香 美 町 本 城 穂 香
夢 想 華 樹 日高町水上 松 本 侑 子
台風列島竜の落とし子 大 磯 町 森 田 貴 弘
おかたづけしよう！ 気 比 山 口 和 則
天 ノ 竜 宮 日高町名色 山 根 あきひと
ハートの女王城 穴 栗 市 山 根 雅 彦
初 秋 の 川 辺 日高町江原 百 合 岡 孝 夫
鷺 岬 与謝野町 吉 岡 正 和

絵画 審査評

審査員 熱 田 守

本年度は昨年度より出品点数が増え、人物や動物、風景等の題材がバラエティに富んでいました。賞については、数の関係上惜しくも賞を逸した作品があったことが心残りです。今後も意欲ある作品づくりを期待しています。

書 道

市 長 賞

池 田 草 庵 の 詩

出石町川原 吉 岡 朱 苑

評

墨量豊かに堂々とした調和体の作品です。ゆったりした呼吸のリズム感を大切に、言葉を噛みしめる様に書く姿勢に好感が持てます。渴筆が出れば更に良い作品になるでしょう。(森嶋)

議 長 賞

王 勃 詩

出石町寺町 北 原 脩 香

評

明末清初の倪元璐を基調にした秀作。充分墨を含ませながら一字一字を気持ちを込めながら書き進むリズム感、遅筆ではあるが線の太細、文字の大小等の変化を出しながら見事にまとめています。行間の余白も美しいです。(森嶋)

教育委員会賞

百 人 一 首

戸 牧 森 田 由 香

評

百人一首三首を横に展開された仮名作品。書き出しは、小さく静かに書き始め、中央部に向かって大きな展開を創り、後半は又静かに纏めて収めるオーソドックスな構成。散らしの行の流れ、響き合う行間、中央部の渴筆が素晴らしいです。

(森嶋)

商工会議所会頭賞

送 遠 詩

日高町万劫 原 薫 苑

評

五言古詩を縦三行にまとめた行草作品。文字の大小、行、草書を巧みに配置しながら行の流れを試みられました。後は渴筆と、リズム感を持つての筆の動きが大事になってくると思います。(森嶋)

文化協会長賞

小諸なる古城のほとり

日高町森山 谷 垣 邑 翠

評

島崎藤村の詩を横型式に展開された秀作。漢字とかなの調和が絶妙で、自然と口ずさむような気持ちにさせてしまいます。落款の処理も素晴らしいです。
(森嶋)

特 選

後 継 者 不 足

丹波市 足立 希柳

古詩 十九首之十五

出石町鍛冶屋 五十嵐 由碩

白 居 易 詩

京丹後市 小 國 華園

意 到 筆 隨

山王町 尾 畑 翠庵

秋 日 江 上 見 燕

福知山市 杉 岡 恵泉

一 帆

養父市 鳥 居 花泉

與 謝 野 晶 子 の 歌

千代田町 根 兵 純蘭

邨 居

日高町石井 三 木 雪華

入 選

趙 秉 文 詩

竹野町森本 岩 崎 華苑

書 の 道 全 う

丹波市 大 槻 幸希

江 南 可 蓮 蓮

上佐野 金 尾 純翠

上を向いて歩こう

栄 町 九 谷 雪翠

万 葉 集

元 町 久保田 敦子

光 風 霽 月

小田井町 久保田 和美

南 郡 歌

下 宮 小 西 美風

桜

下 宮 小 畑 稲翠

岑 參 詩

京丹後市 坂 本 青浦

贈 青 石 子 詩

京丹後市 佐 藤 青波

陳 子 龍 詩

三 坂 町 島 蓼 花泉

百 人 一 首

養父市 正 垣 翠泉

李 白 詩

京丹後市 瀬 戸 蕙華

錢 起 詩

正 法 寺 達 富 華苑

望 野

京丹後市 田 中 瑞雲

萬 葉 集	正 法 寺	谷 岡	凌 風
コツエブーのことば	城崎町湯島	谷 垣	小 鈴
王 維 詩	昭 和 町	西 村	康 雲
岑 參 詩	京丹後市	浜 田	彩 雲
萬 葉 集	小田井町	原 田	清 翠
楊 柳 湾 晚 帰	丹 波 市	廣 瀬	松 香
藤 原 基 俊 詩	津 居 山	藤 井	菖 園
一 輪 池 上 明	中 陰	細 川	恵 苑
秋 懷 の 詩	日高町山宮	松 原	朱 幸
劉禹錫詩「新秋寄樂天」	出石町松枝	宮 本	咲 園
高 攀 龍 詩	竹野町竹野	安 田	友 苑
若 山 牧 水 の 歌	中 央 町	山 下	富 子
高校野球の思い出	丹 波 市	山 本	千 峰
春 夜 喜 雨	引 野	由 良	良 雪

書道 審査評

審査員 森 嶋 隆 鳳

今年も優れた作品が多く審査に悩みました。

特別賞5点の内、調和体が2点入り過去に無かった事かと思います。今後も多くの人に挑戦して欲しい分野かと思います。

U-30商工会会長賞

30歳未満の方を対象とした「U-30商工会会長賞」は、一般の部〈書道〉で議長賞を受賞された北原 脩香さんに決定いたしました。

評

一般の部第2席を射止めたこの作者が、若い方と聞いてビックリしました。作品から若者らしい生き生きとした雰囲気伝わって来ようです。更なる精進を祈ります。
(森嶋)

写 真

市 長 賞

あなたがいるしあわせ

駄 坂 中 島 威

評

何でもない日常の風景のひとつを切り取ったところに惹かれた作品です。撮影された方の人柄からくるのでしょうか、二人のおばあさんの笑顔が印象的です。しっとりとした背景の表現などベテランのテクニックが感じられ、オーソドックスながらとても好感が持てました。(池本)

議 長 賞

ANOTHER SKY

上 佐 野 岡 畑 大 介

評

凍り付くような雪山の風景を、紫色で表現され、寒さがよく出ています。この写真の良いところは、奥に点景の人物を入れられたことに尽きます。うまく人物を入れることで平凡な風景作品にならず、センスある作品に仕上がっています。(池本)

教育委員会賞

炉 端 で 偲 ぶ

三 田 市 馬 場 和 正

評

囲炉裏のあるノスタルジックな喫茶店で、おそらく撮影された方の友人と思われるおじいさんが写っている作品。おじいさんの何とも言えない表情と、周りの色の温かさからほのぼのとした印象を受けました。手前に置いてあるコーヒーカップから、作者がこちら側にいるという存在感を表現しているところに物語を感じました。(池本)

商工会議所会頭賞

ダンシングガール

朝 来 市 福 本 辰 志

評

白い狐の女性が舞っている作品。ブレやボケというのは写真でしか表現できないものですが、これだけのスローシャッターで、真ん中の女性にだけピントが合ったということは奇跡的なことだと思います。女性の表情もよく、まさに写真でなければ表現できない作品です。(池本)

文化協会会長賞

だんじり魂絞り込め

出石町材木 中 井 博 喜

評

これだけ凝った写真の見せ方をされた作品は初めてです。被写体に合わせ、額の見せ方を独自に考えらえた努力に敬意を表したいと思います。写真自体はもう少し明るくしたほうがより良い作品になったと思います。(池本)

特 選

か も め ガ ー ド

宮 津 市 糸 井 洋

冬 晴 れ

宮 津 市 井 上 敏 和

蒼 き 夜 の 共 鳴

今 森 梶 川 比呂美

侵 入 者

舞 鶴 市 河 田 長 友

野 球 大 好 き

日高町府市場 戸 田 正 樹

代 掻 き

朝 来 市 中 井 勝 之

雨 柱 往 く

戸 牧 中 尾 滋 男

雨 降 り の 朝

上 陰 畷 谷 昌 弘

男 の 闘 い

出石町袴狭 西 垣 宗 和

あの海を越えれば

養 父 市 西 村 良 子

雪 深 し
ま な ざ し
猫 の 散 歩
開花を待ちこがれて
波 紋 の 調 べ
ええぞー。おとうちゃん

香美町 濱田 幸男
日高町日置 平間 海成
日高町江原 古川 五夫
竹野町草飼 古林 京子
下 陰 前平 照雄
竹野町竹野 米田 誠

入 選

勇 猛 果 敢
終 祭
扇 望
遠 光
月 路
家 っ
打 万
千 朵
波 動 に 遊
森 の 宝 石
舟 屋 の う み ね
すがすがしい朝
おかえり
晩 夏
泳 ぐ 宝 石
灼 熱 祈 禱
ひ か る 春
レ イ ン ボ ー
躍 い あ が れ
舞 雨 空 の 銅 弾
梅 H O P E
静 寂 u
蒼 驅 け る
特 等 席
ひ っ そ り と
匆 頸 の 友
今 昔 一 景 5 0 年
陽 光
小さな獲物ですが
瞬 -Moment-

朝来市 朝倉 征夫
香美町 池田 芳久
三木市 石原 修
朝来市 伊藤 章
一日市 今井 隆男
城崎町飯谷 岩本 利夫
養父市 宇和野 英明
出石町分 榮木 雅一
京丹後市 大谷 茂
福知山市 大地 洋次郎
上佐野 岡畑 早織
香美町 尾崎 賢一
中央町 川見 光江
福知山市 木崎 誠志
加広町 北倉 清安
戸牧 北本 重乃
庄境 黒坂 清乃
出石町福居 河本 なみ子
香美町 小林 智之
庄境 小牧 忍
京丹後市 佐々木 信一郎
高屋 笹倉 章広
高屋 笹倉 沙矢香
佐野 信部 加織
佐野 信部 未昊
丹波市 下田 新二郎
但東町出合 杉山 尚幸
庄境 高田 文夫
上陰 高橋 謙吾
田結 高橋 富子
養父市 竹下 重一
三田市 田中 論

230mのくつろぎ SHIBUYA SKY
早 春
魅惑の朝焼け
コウノトリ 巢塔朝焼け
夕照に染まる
神輿を待つ
宙 S O R A
銀河と水鏡
浦西
路地裏の追憶
夏を待つ
ホワイトアウト
さわやぐ
春の季節
銀河鉄道のごとく
白
旅立ちの朝
龍 か よ し
「俺の居場所だ！」
浜辺のラン プ
滝雲の舞
追憶
早朝の雪景色
冬将軍到来
問答
阿波の土柱子
神の
旅立つ前に
花咲く笑顔で！
さなぶりの夕
旅路
黄昏時
やったぜイエーイ
栄華の跡

中央町 田中 早苗
香住 田中 忍
城崎湯島 田中 照晃
日高町山本 田中 正紀
三田市 田中 美和
京丹後市 谷口 正春
日高町広井 谷田 一弘
日高町岩中 谷田 正典
香美町 田淵 義隆
養父市 田村 和子
日高町岩中 富田 昊
佐野 鳥井 梅男
養父市 中尾 幸郎
鎌田 中西 英則
出石町安良 中西 美也子
明石市 中村 日和登
明石市 中村 日出夫
但東町奥赤 能勢 健吉
城南町 羽賀 政之
朝来市 馬場 佳子
千代田町 浜崎 誠
大磯町 福嶋 数之
日高町野々庄 福嶋 力也
竹野町御又 福丸 峰三
出石町水上 藤木 澄男
養父市 藤原 和實
朝来市 細見 三千恵
福知山市 堀島 信之
出石町分 湊崎 博
養父市 もり こうめい
小田井町 森垣 雅則
養父市 山本 一郎
香美町 山本 守
福知山市 横田 市郎
福知山市 和田 国広

写真 審査評

審査員 池本 喜巳

皆さんの撮影される対象が非常に固定化しており、「写真はこういう風に撮らなきゃいけない」「こういう被写体を狙わなきゃいけない」という思い込みが強すぎる気がします。そういう意味で新鮮さを感じられない作品が多かったような気がします。次回は自分の個性を活かし、オリジナリティに富んだ作品に期待します。若い方の中には見せ方や表現の仕方が未熟な部分もありましたが、どんどんチャレンジしてほしいと思います。応援しています。

彫刻・工芸

市長賞

大沢崩れ

但東町出合 清水 正和

評

富士山の大沢崩れを、壺のモチーフに選んでいます。その自然原理を抽象的に造形し釉調を上手に利用することにより、ダイナミックで壮大な表現となっています。（森野・松井）

議長賞

時過ぎて

養父市 高階 康之

評

作者が何かを求めて作品と真摯に向き合っている姿勢が伝わってきました。周りの時間は流れても、凝縮した瞬間が作品に留められている印象を受けます。（森野・松井）

教育委員会賞

秋の夜長の訪問者

京丹後市 吉田 征四郎

評

木を素材としながら、木彫と着色を用い、たくさんの印刷された紙が閉じられた本の特徴をよく捉えています。（森野・松井）

商工会議所会頭賞

たじまんまでひと目惚れ

今 森 福井 智子

評

豊岡の伝統である麦わら細工技法を取り入れ、生命力あふれる野菜が見事に表現されています。（森野・松井）

文化協会長賞

アオバトつがい

船町 北倉 通夫

評

羽の薄さ、柔らかさ、艶といった質感と筋肉と骨格の構造を忠実に再現したバードカービングの魅力が詰まった作品です。（森野・松井）

特選

ひまわり～な

小田井町 島田 勝

青い宝石

養父市 平山 清佳

入選

麦わら細工 流れ亀甲	弥栄町	磯崎 基子
見猿、聴か猿、言わ猿	日高町中	井上 清
ぐだるトカゲ	綾部市	井上 咲真
錦 秋 壺	出石町宮内	今井 信彦
戯れ	祥雲寺	上田 晴彦
千手観音	但東町奥赤	小西 護
「和が三つ」	下陰	阪本 敬次
沈思黙考	香美町	柴田 隆男
炭化焼成 耳付花生	新温泉町	清水 俊雄
秋の六方平野（麦わら細工）	泉町	正見 英子
森が呼んでいる	城崎町桃島	田中 智佐子
龍 神	神戸市	田中 典子
金環日食	新温泉町	千代 美代子
古代を思う	野上	増田 美子
D a n c e II	養父市	水嶋 昌雄
天空の城と巨大ロボット	出石町町分	村田 幸夫

彫刻・工芸 審査評

審査員 森野 彰人
松井 紫朗

地域に根ざした素材や伝統技法に新たな工夫を取り入れた新しいテーマの表現に取り組まれた作品を発見することができ、とても楽しい3年間でした。みなさまが作品を制作される姿を想像し、豊岡市の芸術、文化が益々発展していく事を期待しています。

高 校 の 部

(五十音順・敬称略)

絵 画

市 長 賞

最 後 の 葛 藤

八鹿高校 才木 彪ノ介

評

圧倒的にインパクトのある作品でした。内臓、架空の動物、骨、目玉、無数の足などなどヒエロニムス・ボッシュを彷彿とさせる細密描写、色彩もイメージと調和しており、画面いっぱいに作者の表現に対するエネルギーが感じられます。

(内藤)

議 長 賞

見 て い る 世 界

福知山淑徳高校 井 上 楨

評

絵から飛び出した粘土細工のキャラクターにまづ目を奪われました。同じものが画面に描かれている箱をかぶった女子高生、デジタルの世界、現存する世界、鏡の中の世界、豊かな世界が広がり、作者の見ている世界が生き活きと伝わってきます。

(内藤)

教育委員会賞

創 像

福知山淑徳高校 福 佐 彩 華

評

明るいつタッチと色彩で、服のシワなど陰影をつけて素材の質感を捉えています。蝶やビー玉、植物の影など、題材の選択もとてもセンスがあります。細部もよく描かれていて中身の詰まった聡明な作品でした。

(内藤)

商工会議所会頭賞

猫 か ぶ り な 私 共 へ

豊岡総合高校 岡 本 葵

評

白い猫を頭にのせた女の子の顔を画面全体に大きく描いているのが印象的です。よく見るとバックに沢山の目があり、より強さを感じます。丁寧に描かれていて好感が持てます。

(熱田)

文化協会長賞

秋 の 正 夢

出石高校 大谷 友苺野

評

色彩が独特で、思春期の複雑な心理を感じます。

(熱田)

特 選

本当の自分はどれ？

豊岡総合高校 井 上 優 里

2年前の僕へ、そして未来へ

豊岡総合高校 柿 本 大 武

冬 の 通 学 路

豊岡総合高校 木多見 凌 平

水 槽

豊岡総合高校 小 坂 雫

私 の 立 場

福知山淑徳高校 前 田 美 空

入 選

家 族 の ア イ ド ル 豊岡総合高校 有 岡 野乃葉

グ ラ ン プ ル ー 香住高校 石 谷 蒼 太

透 明 な 夏 豊岡総合高校 稲 穂 涼 香

私 の 愛 する 大 正 へ 豊岡総合高校 猪 口 望 晴

愛 着 浜坂高校 植 垣 美 結

夢 の 中 へ 大岡学園 植 田 唯 花

菜の花畑の君たちへ 福知山淑徳高校 小 田 結 葉

いってらっしゃい 浜坂高校 黒 井 彩 加

お腹いっぱいになるまで 福知山淑徳高校 小 西 ひなた

カラフルな乱舞 大岡学園 阪 本 雅 哉

彼 方 へ - I 大岡学園 篠 木 伶 奈

夏の笑顔	福知山淑徳高校	瀬尾 ゆめ
遊 鯨	出石高校	田口 あおい
日常に戻りたい	大岡学園	田口 真也
試 行	出石高校	立 脇 鈴
ふたりの世界	福知山淑徳高校	田 中 心 遥
果てなき命	豊岡総合高校	田 中 悠依莉
襲撃と衝撃と...	豊岡総合高校	坪 井 結 菜
真 実	浜坂高校	中 井 静 乃
舞台袖と緊張	日高高校	西 垣 果莉奈
水 底 戯 画	豊岡総合高校	野 村 伊万里
呪縛からの解放	豊岡総合高校	長谷川 寧 音
記憶の中 - II	大岡学園	秦 大 翔
発 見	豊岡総合高校	濱 崎 心 春
M a g i c a l	福知山淑徳高校	藤 田 望 愛
光 を 信 じ て	豊岡総合高校	堀 江 望 来
一緒にいたいのに	浜坂高校	村 尾 円 海
進化するもの	大岡学園	森 垣 友 愛

絵画 審査評

審査員 内 藤 絹 子

どの作品も若いエネルギーに溢れ、真摯に取りくむ姿勢が伝わってきました。また、ネットなどの影響、コロナ禍を体験した一人ひとりの日常のリアリティが表現されていたと思います。上位作品は細部もよく描けており、レベルの高い作品が多かったです。現実にはないものを想像して描くことや、ユーモアを感じる作品が多くあり、感心しました。

書 道

市 長 賞

臨 王 鐸 家 中 南 潤 作

近大附属豊岡高校 浮 田 青 空

評

墨量タツプリに力強く堂々と王鐸の臨書を見事に書かれ敬服です。文字の大小、線の太細、単体連綿による各行の絶妙な流れが素晴らしいです。今後も更に王鐸を追い求めて下さい。

(森嶋)

議 長 賞

臨 曹 全 碑

豊岡高校 西 村 茉莉香

評

曹全碑を一行に 32 文字の横 6 行に挑戦された力作。最初から最後まで呼吸が乱れず書かれた集中力に頭が下がります。今後も一つの古典を徹底して臨書をすると共に、新しい古典にも挑戦してください。

(森嶋)

教育委員会賞

臨 王 鐸

近大附属豊岡高校 谷 垣 春 花

評

王鐸の多字数の臨書作品。この作も王鐸の特長をよく把握し見事に纏められました。各行の絶妙な‘ゆれ’を上手く表現され、潤渴、文字の大小、文字の傾き等が絶妙です。この調子で頑張ってください。

(森嶋)

商工会議所会頭賞

臨 晋 祠 銘

八鹿高校 梓野 梨奈

評

太宗皇帝の晋祠銘の臨書作品。字数は少なく縦二行に堂々と書かれ、他の作品を圧倒する迫力を感じます。太宗の素晴らしい文字をしっかり捉えて自分の世界に取り込んでいる姿勢に感服です。

(森嶋)

文化協会会長賞

臨 孔 子 廟 堂 碑

豊岡高校 宇野 詩織

評

孔子廟部堂の特長を良く表現された素晴らしい臨書作品。少し文字の大小があるにせよ、最後まで集中して書かれた姿勢が素晴らしいです。今後もこの気持ちを忘れず色々な古典に挑んで下さい。

(森嶋)

特 選

臨 灌 頂 記

八鹿高校 井上 璃子

薦 季 直 表 臨

豊岡高校 尾崎 心花

臨 書 譜

豊岡総合高校 加藤 ひさみ

臨 張 瑞 図

近大附属豊岡高校 川崎 麻央

臨 関 戸 本 古 今 集

出石高校 近本 亮大

入 選

吉 田 一 穂 の 詩

豊岡高校 岩 野 葵

臨「游虎丘詩巻」

出石高校 植松 心結

曹 全 碑

八鹿高校 大林 友莉

臨 高 野 切 第 三 種

近大附属豊岡高校 尾嶋 柚南

臨「松風閣詩巻」

出石高校 加藤 鈴乙

張 衍 懿 詩

八鹿高校 北原 詩乃

禪 語

豊岡総合高校 後藤 美咲

臨 北 海 王 元 詳 造 像 記

出石高校 小山 瑠衣

臨 王 獻 之 敬 祖	豊岡総合高校	佐 野 光 紀
臨 王 鐸	但馬農業高校	田 中 陽 和
臨 倪 元 璐	豊岡高校	辻 井 律 希
臨 蘭 亭 序	八鹿高校	中 村 心 優
臨 針 切	第一学院高校	西 川 葵
臨 漢 詩	近大附属豊岡高校	西 村 留 実
臨 十 七 帖	日高高校	林 咲 良
臨 文 徵 明	豊岡総合高校	福 田 鈴 菜
臨 争 坐 位 文 稿	八鹿高校	藤 原 涼
臨 乙 瑛 碑	豊岡総合高校	古 澤 菜 摘
臨 蘭 亭 序	日高高校	八 尾 愛 珠
臨 集 王 聖 教 序	八鹿高校	山 田 乙 葉

書道 審査評

審査員 森嶋 隆鳳

高校生の出品も昨年より増加して嬉しく思います。一人でも多くの若い人達に書に関心を持って勉強してもらいたいと思います。臨書作品が多く、練度も高い素晴らしい作品が寄せられました。今後も大いに高校生の出品が増える事を願っています。

児童・生徒の部

(五十音順・敬称略)

図 画

◆ 幼 児 ◆

【推 薦】

みずばっしゃーん！ 南 光 遥 仁
かにのおかあさん えささがし まつもと けいた
さあ！さかなをとりにいこう！ みやけ さ わ

【特 選】

よるのさんぽ 井 上 紗 羽
おおきなおいもとせいくらべ 宇 野 央 人
およいでいるカエル 兼 川 十奈爾
きらきらなすできたよ かわべ ゆ め
オリンピック みんなでおうえんしたよ 坂 本 優 衣
ぼくのだいすきなたけのこ しおかわ ゆ う
さつまいもをほるよ 野 口 渚
ヘラクレスオオカブトに会いたいな 長谷川 愛 斗
にじいろのさかな ふくしま る か
フープでポーズ 八 幡 奏 斗
こうのとりがカタカタないているよ 山 本 涼 晴
プールさいこう！ よしたに もとき

【入 選】

赤 池 春 紀 おおた ただし 大 谷 蒼 汰
岡 田 悠士朗 片 山 絢 葉 かわうち のい
川 下 瑳 月 栗 原 麻 雅 小 崎 朱 莉
小 谷 詩 小 林 凜 乃 下 田 怜大朗
瀬 渡 悠 真 高 木 咲 京 高 橋 希 穂
田 中 慎太郎 田 中 滢 田 中 美 優
田 邊 二 胡 たむら そうた 田 村 永 愛
つぎき こうき 中 井 桃 李 長 岡 咲十羽
中 島 汐 理 なかにし ほまれ 夏 目 蘭 奈
にしがき しゅう はせがわ えにし 羽世田 皐之助
は ら なおと はらだ つむぐ 平 尾 廉次郎
ひろい は な ふ じ ちひろ 藤 原 壮 平
盆子原 丈 晴 ますだ りんか まつお はる
まつお よつは 松 田 芽 三 松 本 桃 李
みずたに あかり 三 歩 汐 里 宮 本 富 雅

安 井 悠 人 安 田 英 仙 山 本 恵 司

◆ 小学 1 年 ◆

【推 薦】

しゃぼんだまらんどヘレッツゴー！ 福 井 統 梨
せかいいちつよいざりがに 藤 木 樹 矢
とのさまばったすべりだい 村 田 侑珠樹

【特 選】

ひまわりと妖精たち 安 達 夏 芽
いっしょうけんめいおどったうんどうかい 居 相 碧 音
コウノトリにのったよ 磯 尾 汐 里
ばんちのぼおず 太 田 旬
うみのなかまたち 加 藤 尊
み〜つけた ヘラクレスオオカブト 久 保 田 蒼
とりにのって うちゅうにいこう 柴 田 莉 子
コウノトリとあそんだよ 新 宮 優 空
にじいろのさかな 田 中 紗 笑
11ぴきのねこ 田 中 希 果
うみのダンスパーティー 田 中 琶 心
シャボンだまとんだよ なかしま あおい
うみがめのおうさまのおとりだい！ 平 井 創 大
あわあわはみがき 水 谷 心 海
たのしかったザリガニつり 森 本 恵 子

【入 選】

あきたけ ひより 足 立 奏 いい がくと
飯 塚 洋 大 井 崎 絢 心 いなば ふうか
上 坂 杏 奈 うえさか かなえ 植 田 紬
上 田 陸 斗 大 垣 はる渚 太 田 圭 亮
大 橋 結 絆 小 幡 賢 誠 角 金 瑞 季
北 尾 旭 陽 北 川 愛 彩 小 谷 紗 代
小 畑 凜 夏 小 山 凜 香 酒 井 大 雅
相 模 奏 汰 しもがい ゆうな 杉 田 凌 麻
たかた そな 多 次 穂 洋 田 中 陽 花
谷 口 せりな 谷 田 莉 帆 田 村 樹 希
田 村 香穂子 寺 内 心 美 永 井 涼 誠
中 尾 羽 花 なかしま あき 中 島 一 輝
中 西 愛 中 西 羽 奏 長 野 颯
中 村 蓮 音 なりた まお 西 岡 陽 汰
西 垣 和 玖 西 村 東 晃 にしもと れい
橋 本 湮 橋 本 瞬 浜 村 環 汰
ひらた ちひろ 藤 盛 湊 斗 ふじわら いちか

藤原海未	藤原愛菜	古田向日葵
政次柚葉	松田彩杏	三木朝陽
三木日菜子	三歩咲織	向谷葵
村上柚珠	山口和葉	山本頼句
山本和奏	吉井柊奈	

橋本瑠希	長谷川みあ	浜上夏帆
早川結登	原口聖也	藤原優彩
藤原桜太	布野權也	堀隼稀
間島秀太	松岡大瑤	松島佳吾
圓山和花	水谷綾花	安田壮志
保田宗史朗	安原陽央	山下空
八幡夏葉	湯淺裕紀子	横江咲太
吉田紬	吉村一崇	若宮菜乃羽

◆ 小学2年 ◆

【推 薦】

火にとびこむ水のりゅう	佐瀬莓奈
たまごからおっこちた	清水崇臣
トンボとわたしの大ぼうけん	西垣杏夏

【特 選】

星が大すき！	大滝權士
パッカーン！クワガタが生まれたよ！	岡村拓真
トンボとふしぎなトンボ	小野風貴
シャチとあそぼう	角谷心実
島ひきおにさんと遊ぼう	河崎瀬七
光る火山のきょうりゅう	永棟壺哉
海の王国	橋本朱莉
雨の中のあじさいとぼく	廣島葵
きれいな海の中	福田花火
にじ色いっぱい 元気いっぱいねこ	藤田琴音
ぼうしの中の海	松尾柚季
カメのはじめてのしん海たいけん	矢野尾依弦
大きなかまきり	山崎蒼
にじいろのトンボ	山根さくら
ドラゴンたん生	山本壮馬

【入 選】

秋森結月	天野昂	池田光希
井崎楓	石井紅雅	伊藤碧葉
豚座清太郎	大井理莉子	檜本侑菜
河合さほり	岸本彩愛	岸本羅杏
北村陸羽	木村星那	木本羽奏
小中大和	坂本一夏	坂山瑠彩
定元燈李	竹中豊花	田中杏奈
田仲貫泰	田中颯人	田中凜音
谷垣結架	柘翔貴	津崎匠真
辻井葵	中井奏翔	中井早来
永井日音美	中川琉生	中島海翔
中島鈴果	中山紗智	西莉杏
西口凜	西村悠真	西本菜月

◆ 小学3年 ◆

【推 薦】

木の上で遊ぶと楽しいな	石谷真子
何をしてあそぼうかな？	笠垣得桜
ラッキー見れた！	林田惺人

【特 選】

月夜のりゅう	大石望心
見て！すごいのできたよ！	奥野晴翔
木のまつり	小田裕真
あやとりをするぼく	落合勇斗
コウノトリにのってうちゅうへ行こう！	関口美織
楽しかったいかだつり	田中結衣
木のまつり	寺田陽翔
きれいな花畑	戸林悠歩
はじめてのにじ	萩野絢音
私もでるよ日本遺産麒麟獅子舞	畠山このか
カラフルな世界に1本のヒマワリとわたし	平瀬宝
ふしぎな花びん	藤尾咲勇
私もでるよ日本遺産麒麟獅子舞	宮階絵瑠奈
コウノトリと生きる町	森井佳織

【入 選】

赤浦弘汰	赤尾絆心	秋田妃莉
足田みなみ	芦田優和	足立好未
足立隆乃介	安積岳輝	案田英伶
石田日向子	石本輝壺	伊藤羽美
糸谷仁太	今本莉暖	上坂紗永
上田奏空	上山莉依	大岸あみ
大桐彩織	大林まひる	小川鈴
尾崎愛依	北原寿都	衣川廉人
小畑慧	小林光太郎	小山祐生
齊藤康介	坂口栞椰	峪口壺斗
塩見麟太郎	下岡諒太	田中瑞希

田中 優唯	谷垣 結彩	椿野 嵩人
徳網 めぐみ	中島 楓	中村 遙
仲山 悠太	西崎 誠心	西松 詩多
根岸 奈央	濱田 梨緒	福井 奏吾
藤田 寧々	藤原 遥大	松本 有陽
水田 知玖	向原 槇志	守本 芽純
森本 聖奈	安原 里音	山口 芽実
山田 虹斗	山端 陽和	山本 結愛
山本 楓心	吉井 睦	

◆ 小学4年 ◆

【推 薦】

鉄棒にぶらさがるぼく
年に一度しか咲かない花
大きな木がほしい

居相 稀 音
家元 麦
古田 麻 陽

【特 選】

きれいな目のトラ
はく力満点！ふしぎな魚
鏡の中の不思議な世界
世界一大きな光る花
虹色トンボに乗って
セキセイインコの木
マーメイドと魚のお城
龍とぼく
世界で一つのヒマワリ
給食 楽しみだなー
世界に広がる花
不思議な海の魚
深海にすむ魚たち
かいて見つける手の物語「タイムマシン 時空を行く」
リスが集まるすてきな木

稲田 悠 鈴
今西 瑠 奏
河原 柚 颯
北村 柚 奈
酒井 煌 介
佐藤 雪 乃
島田 菜 那
寺尾 篤 人
寺田 篤 花
西浦 潤
浜田 愛 陽
古谷 駿 尚
松岡 大 珠
三谷 和 彩
宮本 彩 羽

【入 選】

天野 陽太	荒木 優人	石井 花甫
磯崎 鈴	乾心 結	井上 芽依
井内 結月	岩井 唯人	上杉 一花
大月 瑛介	岡本 正真	小田垣 陽菜子
貝尻 葵依	狩野 聖陽	亀田 りんか
岸田 実佳	北垣 海斗	熊田 悠郁
小林 有藍	小山 夏葉	近藤 陽葵
坂本 怜	澤田 百々咲	柴田 真歩
下雅意 星空	下雅意 美月	正田 春陽
信免 和希	末次 楓	杉山 藍
鈴木 琉結	竹村 椰希	田中 郁未

田中 友輝	田仲 陽翔	田中 陽万里
棚橋 ひかり	椿野 誉月	中尾 彩心
中川 清十郎	中村 幸永	西垣 栄真
西口 結人	西村 栞生	野竿 創市
野竿 優月	橋本 蒼生	廣瀬 祥夏
福井 峻ノ祐	福島 康士朗	藤井 優和
藤本 晴稀	堀之内 環	松岡 紗帆
松岡 美都	松上 孔亮	三木 葵
南昌 幸龍	村田 穂乃果	妻鹿 紬
山下 航	山中 惣太	山根 芽生子
吉原 陽	和田 梨生	

◆ 小学5年 ◆

【推 薦】

雨の日の玄関
田植えをする人
夢の空の銀河鉄道

小島 花 緒
椿野 陽 登
中尾 花 楓

【特 選】

蝶の棲みか
まぼろしの花
異世界に舞う不死鳥
あの日の夜空
松明からみんなを照らすファイヤー
雲をつきぬけ大ジャンプ！
思い出のカヤック
わたしの 雷神
いつもの場所
輝け！夜のジャングル
真夏の米作り
昇降口の一輪車
決める
アジサイ
のぞき穴
はくりよくのあるクマ
こんなに楽しいだなんて

大石 弥 奈
太田 夏 海
岡田 莉 愛
片岡 千 穂
川瀬 千 佳
岸寿 悠 成
岸田 悠 里
岸田 琉 音
坂本 千 咲
坂本 いち 花
菅原 こな つ
長峰 彩 音
福田 優 真
藤井 優 心
藤田 真 聡
宮嶋 真 妃
吉田 彩 久

【入 選】

東 優 那	足立 結 香	石 田 杏
石 割 丞	市場 千 歳	今 西 瑛 太
梅 垣 洸 希	大下 瑛 愛	大 田 翔 慎
大谷 結 乃	大橋 一 翔	岡 本 琴 葉
岡森 心 詩	尾崎 琉 唯	小田垣 心 美
柏原 愛 莉	河合 しおり	岸 本 大 河

足立陽咲
小田垣真桜
駒澤凜香

【入 選】

朝倉 優葵	今井 然	上田 陽翔
岡田 真太朗	尾崎 百香	長田 悠花
木下 葵紫	木下 稟子	後藤 羽空斗
齊藤 晴天	柴原 咲馬	澁谷 衛
白岩 優真	高田 望愛	田中 佐保
田中 佐和	谷山 楓薫	田里 優花
戸田 采希	戸田 莉紗子	永澤 眺
名城 來杜	鍋田 朱音	秦 大輝
前田 琉花	榊田 依桜里	松岡 悠
宮垣 朱里	村瀬 琴子	元井 悠輝
保田 柚乃	淀 ひかり	

◆ 中学2年 ◆

【推 薦】

おばあちゃん家の夏休み
見つめる

川崎 心桃莉
田中 菜悠花

【特 選】

幼き頃の思い出の道
木漏れ日の滝
陽だまりの小道

岡畑 稀
田中 柚葵
吉尾 奈々

【入 選】

伊藤 有紀	稲村 優花	鵜鷹 大空
應供 蓮生	大坪 爽世	岡田 芽依
小川 琥太郎	小操 芽生	長田 彩芭
鍛冶畑 里桜	木村 彩那	小西 悠月
小林 栞那	坂田 夏規	清水 琴葉
清水 遙太	城下 神清	竹中 理恵
竹中 凜	谷岡 功太	谷垣 琉衣
鶴田 一叶	友田 彩葉	長島 茜
中嶋 彩葉	西山 愛莉	長谷川 香子
フカイ 萌	福田 友奈	藤原 茉央
藤原 柚希	古川 桃葉	本田 莉子
増田 晟治	松岡 煌大	松島 志龍
水田 果歩	森垣 かえで	

◆ 中学3年 ◆

【推 薦】

あげないよ
河原でのひととき

大武 星愛
藤野 眞衣

【特 選】

あじさい
夜の始まり
月読宮

衛藤 智彩
小谷 英理奈
小林 あおい

【入 選】

青木 八与	荒木 りこ	飯田 琥晴
伊藤 愛莉	上坂 美月	大場 胡波
岡本 博杜	金下 愛奈	神谷 花
川口 百花	岸之上 琴未	岸本 司
木谷 菜々花	九谷 明生	塩原 千代
峻 佑	白藤 真琴	武中 里桜
竹野 杏那	谷垣 梨香	千野 良介
戸田 陽	中田 陽依	中村 凜
中村 玲来	野村 伊織	橋本 琉生
畠中 梨緒	服部 芽依	藤木 理人
藤室 柚希	藤本 佐祐	松井 朝陽
真野 友里	三木 暁史	棕木 尊教
安田 侑司	保田 凜	柳本 悠貴
山田 まゆ	吉岡 咲凜	吉岡 虹凜
米田 逢莉	濟 大樹	

図画 審査評

審査員 内藤 絹子

児童は、思い思いに色や筆を使い、のびのびと描けていたと思います。その中でも、力みなぎる元気なものを選びました。高学年になるほど、技術のレベルが高く、選出するのに時間がかかりました。これからも、日々の生活で考えたこと、感じたことをエネルギーに絵の中で表現されることを願います。

習 字

◆ 幼 児 ◆

【入 選】

いまい えいと いわもと みう うしお けいた
おばた こうたろう かどの しょうや きむら ゆいか
なかがわ りおん ぬまた つぐみ み き ゆづき
わ き ゆうな

◆ 小学 1 年 ◆

【推 薦】

牛 うえさか かなえ
土 たぶち ひろき
山 ねひょう りんたろう

【特 選】

く つ きしだ さ り
千 ごしま ゆいな
千 もりた り こ

【入 選】

あだち せいらい いのうえ れんと 大にし ゆ あ
かみの し ほ きし田 あやか しんぐう ゆうく
そでなが ゆづか たにがき りょうた と ば かなと
はしもと な な 山ざき ゆ い

◆ 小学 2 年 ◆

【推 薦】

正 かわい さほり
赤 牧 田 千 代
一 生 みな木 あや七

【特 選】

車 しま田 はると
か ぜ 田 中 ゆ め

手
牛
山
王

まつおか ら な
丸 山 かずま
みやぎ たすく
山 本 ゆいか

【入 選】

いとう あおば 岸 本 ぜんた ごとう すみれ
しばがき さ ほ 高はし ゆ い 田 中 ほ の
つげ しょうき 長 お ゆ い ながおか ふうが
中 島 怜 華 西 岡 大 き ふじはら な お
ふるたに ゆり子 丸 お ゆ 月 まんたに さ と
むつうら あかり 保田 そうしろう わかみや なのは

◆ 小学 3 年 ◆

【推 薦】

光 嶋 崎 綾 音
火 花 山 福 井 花 音
福 福 田 桃 子

【特 選】

小 犬 石 谷 真 子
山 上 上 垣 あやな
工 作 岡 田 汐 桜
人 生 岸 本 悠 生
一 生 滝 下 奈 祐
空 谷 岡 村 香 穂
水 玉 田 村 芹 夏
人 力 西 岡 和 優
人 生 原 田 め い
友 人 村 お ひまり

【入 選】

上 田 愛 莉 太 田 あおば 川ばた み ゆ
幸 岡 杏 奈 笹 山 淳 平 佐 野 悠 人
塩 見 和 叶 杉 本 夢之介 袖 長 小 桜
高 井 葉 田 中 康 介 田 中 優 羽
谷 垣 凜大良 田 村 葵 中 嶋 紗 椰
中 野 莉 緒 西 田 優 愛 西 松 詩 多
原 田 や え まえ田 の ん 盛 重 実 優
森 本 聖 奈 山 科 凜 佳 山 本 桜 和
吉 垣 か の 吉 田 成 臣

◆ 小学4年 ◆

【推 薦】

大人水	地生玉	井北六	内村うら	結柚ひより	月奈
-----	-----	-----	------	-------	----

【特 選】

大水太圧作火山山	仏玉陽力物山里	出上岡北坂田田古	石杉田山本原ち谷	匠花陽葉か佑み尚
----------	---------	----------	----------	----------

【入 選】

家米田谷西美山若	元谷垣垣澤藤崎林	麦風和衣歩羽香	後澤高中長藤山	垣田高原尾谷川本	柚百々一彩甲ちづと	月咲颯心汰ちづと	貝城田中畑宮吉	尻下中島村崎岡	葵夢望悠誠英莉	依花月夏太郎湧乃香
----------	----------	---------	---------	----------	-----------	----------	---------	---------	---------	-----------

◆ 小学5年 ◆

【推 薦】

緑無地	風我球	田中古	村尾田	杏花樹	莉楓奈
-----	-----	-----	-----	-----	-----

【特 選】

成決成決武水発	立心長心士庄見	足足岸小佐清坪	立立本山野水内	萌結千雄健桜望	仁香香咲大人心心
---------	---------	---------	---------	---------	----------

大予大大笑成	地報志海顔功	土西西福松森	肥畑村井下田	結獎大美希	優貴真祐桜子
--------	--------	--------	--------	-------	--------

【入 選】

家神岸小笹田永藤宮森	城矢本谷山中井原岡本	瞳慎大優結美愛沙心純	依朗河芽衣桜莉耶美暖奈	井岸木小城田西福帆山	上田下林田中岡井前森本	梓美葵拓菜芽仁太陽翔菜來	加岸小酒竹田根藤堀向若	藤田島井中瀏兵野井宮	悠悠希ひ千朋和千佑優羽	伍里依な夏希花晴誠志那
------------	------------	------------	-------------	------------	-------------	--------------	-------------	------------	-------------	-------------

◆ 小学6年 ◆

【推 薦】

秋理地	風想球	石水与	谷野田	大志海	和保晴
-----	-----	-----	-----	-----	-----

【特 選】

必成勉尊天地永旅理奉伝秋理春月感	い生	要功強命地球遠行求仕統風想風海謝	恵柿坂嶋谷谷永仲西西西松眞宮和	後原本田田村澤島田村村山鍋下田	有彩夢さく央駿芽英ち心友玲柚千真のぞ	紗衣菜ら理介依里な花花実芭夏桜未
------------------	----	------------------	-----------------	-----------------	--------------------	------------------

【入 選】

足立	大西	梶原	木村	齊藤	城下	田中	谷中	林藤	松本	森脇
茉希	原結	村陽	藤柚	下鳳	中垣	田有	晴琥	澤本	協菜	々香
子空	結愛	陽葵	柚希	鳳雅	杏感	咲大	珀珮	美颯		
伊尾	川小	島中	高田	谷中	村垣	原田	古川	皆木	吉垣	結望
東畑	口坂	莉菜	咲也	悠人	優希	清正	結翔	開智		
麗斗	結葵	菜加	樂人	希正	結翔	開智	望			
伊梶	北村	小谷	下雅	意將	梨小	真真	咲琉			
藤川	村谷	田中	友橋	福松	森谷					
百琉	優碧	將梨	小真	真咲	琉生					
音有	羽音	海吾	瑚智	一夕	菜生					

◆ 中学 1 年 ◆

【推 薦】

晴耕	雨読	西畑	安佳里
春風	梅花	森垣	日葵

【特 選】

世界	遺産	足立	紗依
古寺	絵巻	谷垣	萌枝香
有終	の美	平尾	花音

【入 選】

朝倉	優葵	足立	真央	家城	羽菜
伊藤	葉那	井内	裕介	入江	昊
小田	垣真	片岡	優結	勝地	ももか
武繩	真奈	田中	康稀	田中	志歩
谷口	さくら	谷口	凜華	筒井	紫千花
根岸	悠奈	宮垣	朱里	森田	夏希
山本	咲帆				

◆ 中学 2 年 ◆

【推 薦】

友愛	の精	神地	谷川	悠衣
至徳	照天		鳥居	桃安

【特 選】

清秋	満天	星	清	水	琴	葉
雲外	蒼天	天星	橘	蒼	士	夏
清秋	満天	星	平岡	楓		

【入 選】

稲葉	陽人	今井	樹里	岡野	円香
狩野	結月	川原	悠衣	川見	心優
木村	壺咲	佐藤	花姫	城下	神清
脊戸	心花	田垣	一愛	田中	心陽
谷垣	琉衣	綱心	春花	西村	颯人
松島	志龍	森本	知花		

◆ 中学 3 年 ◆

【推 薦】

至徳	照天	地新	井上	晴香
江山	景物		高井	音

【特 選】

風静	語丹	鶴村	井垣	華菜
千峰	紅葉	美	美藤	日菜子
書芸	墨		水野	真佑

【入 選】

今西	悠太	衛藤	智彩	大武	星愛
岡本	真優	岸本	葉月	小山	叶恵
嶋田	怜那	瀬尾	柚月	中村	楓
中村	凜	二位	絢音	西岡	咲瑛
藤澤	光琉	細見	悠月	松山	緋奈乃
安田	晴彦	山本	真央		

習字 審査評

審査員 森 嶋 隆 鳳

応募作品が昨年より20点近く増加し大変嬉しく思います。皆さんが日頃から一生けんめいに練習された力作が多く、審査が大変でした。これからも好きな習字を長く続けてくれる事を願っています。

予備審査評

予備審査員

【図画】

【幼児・小学校】

それぞれの学年に応じた題材に取り組んだ、多彩な作品が多くありました。様々な技法を使って、画用紙いっぱいに自分の思いを、のびのびと表現していることが伝わってきました。

今後も楽しく描いたり、作ったりしてほしいと願います。

【中学校】

色の明暗や鮮やかさを意識した作品が多く見られ、良い印象を受けました。さらに良くするために作品の中心となる部分や主題を構図や明暗、強弱で見た人に伝わる作品を期待します。

【全体】

各校園で選ばれた力作が多く、審査に時間を要しました。自分なりの表現を工夫し、制作の過程を楽しんでいる様子が伝わってきました。限られた時間ではありますが、最後まで粘り強く全体を描きあげると、更に良い作品になると思います。

【習字】

【幼児・小学校】

幼児・低学年は、のびのびとした元気いっぱいの作品がたくさんありました。学年が上がるにつれて線質の良い作品が多く見受けられました。学年相当の課題選びができると自分の力が発揮できると思います。書きにくい仮名文字や四文字にもどんどん挑戦してみてください。

【中学校】

日頃の努力の成果がよく表れた力作が多く審査に苦勞しました。学年が上がるにつれて作品のレベルが向上しています。力強く、書体の統一に留意して、これからも素晴らしい作品をつくってください。

【全体】

一人一人が課題に意欲的に取り組み、それぞれの良さがあふれた作品がたくさんありました。これからも、筆を持つ機会を多く持ち楽しんで作品作りに励んでください。

第75回 豊岡市美術展 記録

■特別招待の部

	絵 画	書 道	写 真	彫刻・工芸	計
出品点数	0	6	0	1	7
展示点数	0	6	0	1	7

■招待の部

	絵 画	書 道	写 真	彫刻・工芸	計
出品点数	14	17	4	7	42
展示点数	14	17	4	7	42

■一般の部

	絵 画	書 道	写 真	彫刻・工芸	計
出品点数	56	58	120	32	266
展示点数	39	42	88	23	192

■高校の部

	絵 画	書 道	計
出品点数	65	38	103
展示点数	38	30	68

■児童・生徒の部

図 画

	幼 児	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	計
出品点数	131	179	174	163	179	190	205	74	87	99	1,481
展示点数	63	83	81	76	83	89	96	37	43	49	700

習 字

	幼 児	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	計
出品点数	20	34	57	82	68	102	119	50	45	45	622
展示点数	10	17	27	39	33	49	57	24	22	22	300

■協賛展示

◎特別支援学級 児童・生徒作品展

◎アートde元気ネットワークひょうご共同PRコーナー

■審査員

絵画・図画部門	あつた まもる 熱田 守 先生 【2年目】 (日本画家)	写真部門	いけもと よしみ 池本 喜巳 先生 【2年目】 (写真家)
	ないとう きぬこ 内藤 絹子 先生 【2年目】 (現代美術作家)	彫刻・工芸部門	もりの あきと 森野 彰人 先生 【3年目】 (京都市立芸術大学教授)
書道・習字部門	もりしま りゅうほう 森嶋 隆鳳 先生 【3年目】 (日展特別会員、岐阜女子大学教授)		まつい しろう 松井 紫朗 先生 【3年目】 (京都市立芸術大学教授)